

第4号  
1979

会報

# にしきうら



高知県立須崎工業高等学校同窓会

# 目 次

ごあいさつ	校長 大 島 正 賢	1
学校近況	教 頭 久 正 一	2
寄 稿	野 中 健 一 郎	3
会員の皆様におねがい	会 長 清 家 寛	4

## 支部だより

須崎支部	北 川 和 雄	5
近畿支部	山 田 豊	5・6
高知支部	岡 林 幸 保	7
中京支部	春 田 陽 三	8
関東支部	田 所 定 夫	9
	海 地 清 幸	10

## 母校だより

クラブ活動	野球部 植 田 豊 年	11
	水泳部 森 沢 徹 男	12
事務局だより	島 崎 良 一	13・14
昭和53年度決算報告書		15
昭和54年度予算		16
本年度事業中間報告		17
各種証明書の発行について		17
編集後記		17
終身会費納入者名		18・19・20・21
各支部職域幹事紹介		21・22・23

# ご挨拶

校長 大 畠 正 賢



さわやかな秋となりましたが、同窓会の皆さんには、ますますご健祥、ご活躍のこととおよろこび申し上げます。

小生昨年四月本校に着任いたし、須工健児の育成に二年目を無事勤めさせていただきましたことは、教職員・PTAのご協力は勿論でございますが、同窓会皆さんの絶大なご支援のたまものと感謝いたしております、厚くお礼申し上げます。

昨年十一月、近畿支部役員会を皮切りに翌十二月には須崎支部、今年二月には高知支部、五月には関東支部総会に列席の栄にあずかり、その節は各支部の皆さん方に大変お世話になり、過分のおもてなしにあずかりありがとうございました。

各支部の総会で皆さん方に直接お目にかかり、お話をうかがいました時、皆さん方の力強いご活躍振りと共に母校を愛し、昔をしのびながら母校の発展を心のよりどころにしていただけるご心情に接し、強く感銘いたしました。

同窓会支部の役目には各会員の親睦を深め、交流を密にして会員のお一人お一人がより向上していくことかと思いますが、母校の発展充実に、いつまでも変らぬご支援をたまわることもあるかと存じます。

本校は和佐田の丘に移転新築しまして、八年目を迎えましたが、お陰様で環境、施設等も整い、これからは質的な充実に更に努力いたさなければなりません。

低成長下の現今、生徒の進路決定もきびしいものを感じておりますが、これから将来にわたって、本校は高知県下における工業教育のいくつかの拠点校の一つとして、その重責を果さなければなりません。

同窓会の皆さん方の輝かしい足跡を汚さず、あとに続く後輩のため、一層のご支援、ご鞭撻をお願いいたしますと共に、各支部のますますのご隆昌と会員皆さんのご健斗をお祈りいたし、ご挨拶いたします。





# 教 頭 久 正 一

昨年度プールの落成で本校の施設設備は略完備したので校舎については変化はないが、校庭に四季の花を植えたいという生徒会の要望に添って、三月の春休み中に本館と南校舎の中庭に花壇を造成しました。庭園の様式は生徒会で図案を募集し、入選した

E谷中光明君の図案に基づき野中造園の施工により完成しました。中心に二基の原木ベンチを配して赤レンガで楕円形に舗装し、四方に青い碎石の歩道を配し、歩道と歩道の間が黄楊の縁取りをした扇形の花壇となっており、四季の花が咲いた時は教室より授業で疲れた気分を癒めてくれることでしょう。

四季とりどりの花を植え情操教育に役立てたいと思います。丘の上の素晴らしい本校の校舎もホテルか病院と間違えるようです。そのためこの夏休みにも本館屋上へ一・八m角の**園園園園園園**の校名を取りつけました。更にその下の壁に大きな校章も取付ける予定です。生徒にはこれを仰ぎ見て須工生として学校の名譽と品位をけがさないよう自覚をもつて行動するように呼びかけています。この一年間

は文化祭や記念行事もなく過ぎたので校内のことをお知らせします。伝統の校内体育大会は十種目を行

ってききましたが、プール完成と共にテニスと水泳を入れかえて昨年九月十六日(土)に校内水泳大会を開き、私も教員チームで力泳したことでした。修学旅行は二年生が五泊六日の日程で行っています。昨年は九月三〇日から十月五日まで、高知港より特急フェリーで大阪南港に着き、観光バスで中央高速を通り霧ヶ峰、白樺湖泊、白根山、中禅寺湖泊、東照宮、東京都内見物泊、東九オーションファミリーで徳島港、バスで帰校の信州コースでした。晴天に恵まれ宇宙博も見学して成果を収めました。今年度も同じコースを廻る予定です。

三月一日には昭和五十三年度卒業生が一九六名集立ってゆきました。機械科六四名、造船科三三名、化学工業科二九名、電気科七〇名でしたがこの中で川沢のり子さんが開校以来初めての機械科卒業生として、又本校五一番目の女子卒業生として目出たく卒業し、女性エンジニアとして家業の自動車整備工場を継いで活躍しています。卒業生総数は五二六二名となりました。

次に三月末の人事異動を含めこの一年間に転退職若任された先生方を紹介いたします。

## 離 任 着 任

- |         |        |          |     |
|---------|--------|----------|-----|
| 堀見初亀(物) | 退職     | 吉良雅夫(物)  | 小津  |
| 田所胤雄(物) | 退職     | 鎌倉信吉(物)  | 窪川  |
| 松高一正(物) | 宇佐     | 畠山智恵(物)  | 高岡  |
| 加藤登啓(物) | 丸の内    | 森沢徹男(物)  | 宇佐  |
| 森本 宏(物) | 小筑紫    | 中屋十郎(物)  | 樽原  |
| 土居正明(物) | 高知工(物) | 徳久善也(物)  | 清水  |
| 山本健二(物) | 窪川     | 西村孝昭(物)  | 新採用 |
| 和田 章(物) | 安芸     | 片岡啓輔(物)  | 窪川  |
| 山脇正照(物) | 小事     | 和田香恵子(物) | 期講  |
| 大崎節子(物) | 高岡     | 横江忠志(物)  | 期講  |
| 野中利枝(物) | 窪川     | 山口元徳(物)  | 時講  |
| 吉岡 章(物) | 高知市役所  |          |     |

転退職された先生方も夫々元気で過されています。四月七日には昭和五十四年度入学式が行なわれ、機械科八〇名、造船科二八名、化学工業科三六名(女子二名)、電気科七九名、計二三三名の新入生を迎えました。不況による落込みを心配していましたが昨年度よりは三五名多く、定員には少し不足していますが、や、明るい見通しとなりました。来年度は定員に足る志願者となるよう努力したいと思ひます。本年度初めての試みとして良き須工生としての心構えと三ヶ年の基礎を養うため、四月十九日より二泊三日で新入生のオリエンテーションを行ないました。収容人員の關係で機械、造船、電気科は嚆多奇少年の家、化学工業科は大野見青年の家で夫々主任副主任と共に合宿し、規則正しい生活の中で須工の歴史、校内諸規則等を教え、レクリエーションを交えて教師及び生徒間の親睦をはかり、ホーム作りを

して今後の教育の成果をあげるようにしています。県体の成績は全体的に低調ですが五五年度四国で行なわれる全国高校総体の本県強化選手として、卓球軟式庭球、バドミントン、自転車競技の部で本校より七名の選手が選ばれたことは嬉しいことです。

本年度生徒会では野球同好会が発足し、機械科の

植田豊年先生が進んで顧問となり部員もい草のアルバイトその他により道具を整えグラウンドも他の部と調整して空いた場所と空いた時間を利用して活動を始めました。秋には来年春季の選抜予選県大会に出場すべく夏休みにも練習に励んでいます。同窓生諸君の御声援をお願いいたします。

んと大型のスーパーマーケット、それも、旧敷地の大半を占拠してである。でも、その昔、機械科工場があった所に児童公園ができたのは、せめてもの慰みともいうべきだろうか。私はこの児童公園の片隅にても『石文』を建て、かつてこの地の学び舎に集り、そして散じて行かれた人々の若き日のよろこびと涙の『しるし』を刻んでおかれたらと切に思うのだが……………

## 寄稿

### 糺の故地に

### 碑を残しておかれたら

(元須工教諭)

野中健一郎

校舎の移転というのは無論それなりに理由のあるものだが、これが仲々容易でない。地元の利害関係者や教職員団体、在校生、卒業生団体などの猛烈な反対にあって、スムーズに行えないのが普通で、本県の過去にも幾つかその例をみるのであるが、須崎工業高校の場合、少なくとも表面的には異論らしいものもなく、至極平穩のうちに事態が運んだことについては、本校に多少とも縁りのある者の一人として、いささかの感慨もなかったといえは嘘になろう。まあそそうは言っても約七年間の経過をたどってみて、矢張り、移転は賢明な措置だったと評価できなくもないだろうと思う。

それはそれとして、西糺の一角こそは今後どのようにならうしようとも、須工発祥の地であって、昭和十六年本校が創立されて以来、昭和四十七年まで星霜三十年、その間三千余の若者が糺の地に勉学の場を選び、人生の最も多感な時代をこの地に生き、遙かなる夢と希望をこの学び舎のなかにはぐくみ集立っていったのである。

須工の移転にからむ私の感慨は単純でないが、学校の移転は諸般の事情で止むを得なかったとして、学園跡の利用については、先師寺尾先生の御遺志を幾分なりとも継承する意味で、教育、文化関係施設をと密かに念じていたけれども、出現したのが、な



# 会員の皆様にお願ひ!!

平素は会の運営に御協力下さって有難うございます。お蔭さまで同窓会も次第に発展しております。さて勝手を申しますが、会の充実と末永い発展のため、次の件について格別のご協力下さるようお願いいたします。

- (1) 終身会費の納入にご協力下さい。(未納の方) 会費は年会費五百円と終身会費一万円の二種類ありますが、次の理由からなるべく終身会費の納入にご協力下さい。
  - ① 年会費は気楽なようですが、手間が大変で、集金が困難です。
  - ② 終身会費は一回の納入で済みますので、会員の方も本部も共に手間が省け、会の発展に大きく貢献します。
  - ③ 終身会費は別途会計として積立て、その利息を運営費に当てることになっていきますので、会の基金が出来る上に、運営も計画的にできることとなります。終身会費の払い込みは、一ケ年以内の分割払いでも結構ですのでご協力下さるようお願いいたします。

◆ 送金については次の方法をご利用下さい。

(現金送り先)

〒七八五 須崎市多の郷和佐田

須崎工業高校同窓会

(郵便振替の場合)

口座番号 徳島 一三五七

加入者名 須崎市多の郷和佐田

高知県立須崎工業高校同窓会

(2) 勤務先や住所が変わったら知らせて下さい。

① 会報を毎年お送りします。住所変更の連絡がないと、折角送ったものが返送になります。

② 五年に一回名簿を発行する予定ですが、名簿の整備は大変な手間と労力を要するので、常に訂正してゆきたいと思えます。

(3) 支部総会や社内あるいはクラスの同窓会等にはつとめて参加して下さい。

思はぬ身近に友人や知人の居るものです。

また仕事上のことや、その他何かにつけて得るところも多いと思えます。

総会や社内あるいはクラスの会合等は親睦を深める場でもあります。つとめて参加して下さい。

同窓会長 清 家 寛  
事務局長 島 崎 良 一

# 須崎支部だより

副支部長 北川 和雄

(昭26年機卒)



須工同窓生の皆さんには、益々ご精励にて、ご発展ご活躍のことと存じます。須工同窓会発展のため、名簿や会報の発行にご苦勞されております本部役員の方々と同窓生で母校の先生方に感謝申し上げます。

須崎支部においても少しも活動を活発にすべく、支部発足以来、度々役員会を開催し、理事会や総会の対策を検討して来たのですが、理事会においてもなかなか皆さんお忙がしい様で出席者が少なく、ほとんど役員会と変らないのが現状であり、昨年十二月に開催致しました総会についても左記の通り結果になりました。須崎支部会員の可能な限り総会及懇親会の案内状を往復葉書にて連絡致しました。

案内状発送数 九九〇

返信帰着数 三六四

住所不詳帰着数 二八

欠席者数 三一八

出席者数 一八

出席者一八名と本部役員さんや母校の先生方のご出席を得て、総勢二四名で開かれたわけで、総会での討議は主に現在の会費のあり方に集中して、支部運

営をしていくのにも現状での本部より還元金では、とても財政的に困難であり、中には現在は、過渡期であるため各役員が手弁当て対処すれば良いではないかと言う考へ方もあると言うことだが、二度や三度のことなればそれでもよいが、度重なることや

抵抗もあろうし、第一長つづきしないのではないかとと思われる。いづれにせよ今後同窓会の運営についても物価高の折、財政的に一考を要する問題であろうと考えられる。又出席者が少ないのは十二月と言う時期が悪かったのかも知れないし、須崎支部と言

# 近畿支部だより

副支部長 山田 豊

(昭21年機卒)

つても東は越知、北は榑原、西は窪川と、広範囲にわたっているため日程的にも無理があったものと思われる。今後は今の支部組織を細分化して地域へ分会組織を設置しなければならないのではないかとと思われる。ある同窓生より職務の都合で出席出来ないが同窓会活動に役立ててもらいたいと、切手を同封して下さった方もありました。紙面をかりて厚く御礼申し上げます。

二四名の出席者の中でも年代のへだたりはあって、初対面の方もおられましたが何か身近に感じられ、懇親会では打とけて、和気あいあいとして、話し合うことが出来、又の機会での再会を約すことなど、意義ある一面もありました。たとへ出席者が少なくとも回を重ねることにより、会員の皆さんの理解を得て出席者も多くなるだろうとも考へられるがいづれにせよ会員一人一人の同窓会に対する意識を深めていただくことと積極的な協力を切にお願いいたします次第であります。

同窓の皆さんお変わりございませんか。それぞれの職場で御活躍のことと思います。

昭和四七年秋に総会が開かれましたが、その後これといった活動をしていません経過してしまいました。

本部においては会員名簿の作成、会報2号3号の発行等活発な事業活動を行われ、その御努力に敬意を表したいと思ひます。こうした本部の活躍に対して汗顔のいたりですが近畿支部の現況をお知らせいたします。当支部の役員間では支部のあり方、總會の開催等について話し合いがもたれておりますが、次のような問題があつてなかなか總會の開催にふみきれない状態にあります。

それは当支部の範囲が非常に広く、總會を開いても時間的に出席できない地区が多いこと。事務局がないので連絡事務にオーバーワークが生じてきたこと。会員数が多いので連絡に多額の通信費、印刷費を必要とすることなどです。

こうしたあい路を開くため会員の便宜を図つて、当支部を大阪、兵庫、京滋等に分割してどうか。会員のマンモス化と役員の固定化しているため卒業年次別に世話人を選出し、相互の連絡をはかると共にその方も役員になってもらい、会の若返りを図つてはどうか。また主要職場別に世話人を選出して会員相互の連絡を図ると共に、支部の役員として活動をしてもらつてはどうか等の意見が出ております。

当支部内の主な職域のお世話して頂く「幹事さん」については、昨年本部の大変な努力によつて、後記の方々にお引受願つております。各職域の幹事さんにはご苦労さんですが、よろしくお頼みしますと共に、会員の方々も協力下さるようお願いいたします。

ところで、これからの支部のあり方について、いろいろの方法があろうかと思ひますが、私案をのべさせて頂くならば、同窓生として一番つながりが深く結束が固い卒業年次毎に同窓会を結成し、支部は

その年次同窓会の基盤の上ののつかつて運営していく方法がいいのではないかと思ひます。

しかしいづれにしても、会員の皆さんにもいろいろ御意見があろうかと思ひますので、左記へどしどし御意見をいただければ幸いです。

(連絡先) 大阪府南河内郡太子町春日栄町

西川 嘉明

以上拙文ながら本部会報の紙上を借りて、当支部の近況を会員の皆さんにお知らせしますと共に今後のご支援ご協力をお願いいたします。

近畿支部職域幹事名簿

(昭和五三、一、三二現在)

(職域名)	(幹事名)
神天辻鋼球製作所	27 M 伊藤 孝由
大阪瓦斯株	48 C 広瀬 健三
オートタイヤ株	31 M 西山 忠男
尾崎石油株	31 S 岡崎 嘉男
川崎重工業株神戸工場	29 S 坂本 孝之
花王石鹼株和歌山工場	43 C 山中 修一
株神戸製鋼所	35 M 中越佐津夫
小泉製麻株	26 M 大崎 静幸
佐野安船運株	32 S 大川 次郎
三洋電機株	29 M 山崎 富男
昭和精機工業株	28 M 板谷 正雄
昭和電機建設株	40 T 竹本 一男
シャープ(株)電化事業部	30 M 盛光 宣之
白石工業株(株)尼崎工場	23 M 谷脇 正造
新日本製鉄株堺製鉄所	37 T 千頭 旦典
新日本製鉄株(株)広畑製鉄所	35 M 梅原 郁男
住友金屬工業株	31 M 渡辺 泰信
和歌山製鉄所	
セントラル硝子株堺工場	35 S 片岡 麟藏
グイハツ工業株	33 T 福留 楠夫
タカライス工業株	38 M 大崎 幸雄
株大金製作所	48 M 高尾 義継
大日本イソキ化学工業株	49 C 岡添 弘志
堺工場	
東洋ガラス株大阪工場	47 E 小野 豊
東洋ガラス株(株)滋賀工場	48 E 森岡 基
中西化工株	39 M 田井 優充
株名村造船所	31 S 山口 利一
日本紙業株関西事業所	31 S 山野上曹秋
日鉄ロープ工業株	45 E 平井 陽
バンドー化学株(株)南海工場	33 M 長山 三男
日立造船株大阪工場	25 S 植瀬 富方
日立造船株堺工場	40 S 内岡 肇
ベガサスミシン製造株	26 M 池 速水
株堀場製作所	40 M 久川 章
株下電器産業株	31 T 正延 善彦
テレビ事業部	
松下冷機株(株)冷蔵事業部	31 T 正延 善彦
松下冷機株(株)冷蔵事業部	35 M 中川栄一郎
三井造船株(株)永田造船所	32 S 秋沢 孝正
三菱電機株(株)通信機製作所	37 M 安井 修
株淀川製鋼所大阪工場	29 M 中 聖徳

以上

(注) 会社の所在地、住所等については紙面の都合上、会員名簿をごらん下さい。



# 高知支部だより

## 発足七周年を迎えた高知支部

### 総会並に新役員を紹介

副支部長

岡 林 幸 保

(昭28年造船卒)

当支部は今年で発足以来七周年を迎え、去る二月九日高知商工会館四階大ホールで総会が行はれた。参加会員百十余名、母校よりは大島校長先生、久教頭先生、同窓会事務局長島崎先生をはじめ、多数の先生方のご臨席をいただき、盛大に開催することができ、楽しいひとときを過ごすことができました。カットの写真はそのときのスナップです。



当支部の総会が、毎回百名以上の参加者を得て、順調に会を重ねてゆけるのは、清家支部長を中心に熱心な役員の方々、心からお世話下さる幹事さんなど、力強いスタッフが揃っていること、会員の方々も積極的な協力者が多いためだと思います。

今年の総会では役員の改選も行はれたが、参加会員多数の声により、現役員が引き続き留任することとなった。



↑ 高知支部新役員 54. 6. 19.

執行部より一部役職の変更と会の刷新をはかる意味で、新役員を数名加えたい旨の提案があり、全員の上承を得、引き続きその人選については後日役員会で決定し、その発表は今年発行される会報4号の紙上を借りて会員に知らせることで了解を得た。その後六月十九日役員会を開催、後記通り新役員が決定したのでこの紙上を借りてお知らせしますと共に会員の皆さんの旧に倍するご指導お引立とご協力をお願いいたします。最後にりましたが母校のますくのご発展と、会員各位のご多幸を祈ります。

高知支部新役員名簿

(役名) (氏名) (年齢) (勤務先)

支部長 清家 寛 18 M ㈱清家商会  
副支部長 広田 四郎 18 M 日産プリンス高知販  
売㈱

吉岡 豊延 20 M 吉岡電工㈱  
岡林 幸保 28 S 今井造船㈱

理事 田辺 博造 18 M 第一生命高知支店  
田村 耕吉 18 M 県庁出納室  
笹岡 勲 20 M 関西土木㈱  
野瀬 勇 23 M 野瀬建築設計事務所  
竹内 良一 25 M (㈱)サンライト機工  
森岡 清 26 M 高知東工業高校  
汲田 信男 26 M 東洋電化工業㈱  
西森 正忠 26 M ㈱高知大丸  
横川 寛水 28 M 土佐電気鉄道㈱

監査 堀見 正 29 S 高知県造船㈱  
安並 洸吉 30 S 盛友船舶興業㈱  
江潮 俊明 30 T あたご写真館  
長谷部俊夫 41 C 長谷部電工  
井上 健弘 27 M 高知ダイハツ販売㈱  
中西 安男 32 M 東洋園芸食品㈱

以上

# 中京支部だより

名古屋市財団法人水道サーピス  
西部営業所長

春 田 陽 三

(昭和23年機2種卒)

支部長、岡林君から「支部だより」に何か書いて欲しいと頼まれて、もう半月も過ぎてしまいました。会長を始め編集にあたられた方々には大変迷惑をおかけしました。水道工事という仕事柄、予定しない諸問題が次から次へと起り、到々九月も中旬になりました。今夜こそは書かなければと筆を取った訳でとりとめの文章になる事をお詫び致します。

「会報」が発刊されて以来、こゝに芽出度く第四号が発行される事は、誠に喜ばしい限りであります。私共の同窓生はすでに数千人にのぼり全国の津々浦々で活躍されているのですが、「にしきくら」の小冊を抱いて、過ぎ去りし日の青春を頭の中で再現したり、現実には吾が友の活躍ぶりを想定する事が出来るのでございます。年一度発行される「にしきくら」の持つ意義は大変大きいものであります。其の陰には清家会長を始め、編集にあたられた諸先生方の並々ならぬご努力が続けられて居ればこそ実現しているものであります。満腔の敬意を申し上げねばなりません。さて御厚意により「支部だより」として中京の欄をいただきましたが、発足から現在の経過につきましては、会長岡林君の執筆で須工創立三十年誌、会報の一号、二号、三号にそれぞれ

詳しく報告されておりますので、割愛して、これらの、中京支部の在り方と、遭遇している困難な、諸問題も提起して見たいと思います。

確か支部発足は、昭和四十五年の夏でありました。初回は一応、成巧裡に終り、其の後二、三回の総会も開いて、同窓の連帯感も大きく昂揚して参りましたが、最近に至り、集まる機会も遠ざかり、疎遠になりつゝ、ある事は残念な事でありました。「これはいかん何とかしなければ」と岡林君と会う毎に交される言葉であります。「春の桜の頃開こうか」「夏休みの時期に開こうか」と相談、日程、場所までも計画しておれば、お互に私事で申訳ない事ですが、それ特急の仕事、それ工期の切迫、それ受注の出張、と一方が都合がつけば、一方が悪くなり、現在に至っている次第です。想えば中京の地区は、百数十名の同窓生が居るのでありますから、組織が確立すれば、必ずや活気のある動きが可能でありますから、私共は、若い活力のある人を選び出す機会をつくる事が先決であります。そこで近々に(遅くとも此の稿が出刊される頃までには)総会を開いて行き度いと目下計画中であります。次回の(支部だより)には目新しいご報告が出来れば、大変喜ばしい事と

思っております。

はや昭和五十四年も中秋となり、屋外では秋の虫が啼いて、そこはかとなく、さびしさを感じる年令となつて来ました。そしてよき青春の吾が師、吾が友の顔が、思い出として交鎖するとき、誰しも望郷

の懐きを感じ、又バック、ポーンとなった母校への思慕を、中京地区で同じく、バック、ポーンとしたいと思う昨今です。そして微力乍ら支部活動も続けるつもりでありますから、皆様の御指導をお願いしまして、稿を閉ぢさせて頂きます。

## 関東支部だより

支部長 田所定夫

(昭20年機卒)

同窓会の皆様には、益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。

私こと、このたび、はからずも、同窓会、関東支部長をお引受けすることになりました。初代支部長海地清幸さん、前支部長、片岡命長君の後を継ぐわけですが、お二方が二十数年間の長い間、努力され、発展されてこられました関東支部同窓会ゆえに、その運営には、一層の責任を感じます。この上は微力ですが、同窓会、並びに母校の発展のため及ばずながら精進する覚悟であります故、同窓の皆さんの深いご理解と、何分のご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて関東支部の中心は、やはり花の都、東京ですが、支部会員の名簿に目を通してみますと、関東地方の全域にそれぞれ勤務地が散在していますので、須工同窓会の地区区分から言いますと、全国一の広

域支部ではないかと思ひます。昭和十八年卒業生より五十三年度卒業生まで適度に含まれ、現在会員数約五〇〇名の大世帯です。

ついで支部の特色は、大手企業に活躍されている会員が、大変多いことで、日本電気(十九名)富士通(十七名)沖電気(十三名)等、となつており、その職場だけでも、同窓会が行える位のもので、職域ブロックをつくり、そのブロックの幹事さんに、まとめ役として、大変お世話になつております。この点は、都合がよいが、何しろ広い関東地方ですから、各地から集合しようとしても、時間がかかりすぎる欠点はあります。私はその点、銀座の中心に会社がありますので、会員の皆さんとの連絡には便利ですので、上京なされた方々、又支部の会員で、都心に出られた方は、どうかご遠慮なく、お立寄り下されば幸いです。

これまで支部の外見をご説明しましたが、支部の最大行事は、年一回開催予定の総会です。今年、前支部長、外、幹事一同のご努力により、去る五月三十日、中目黒の「大樽」にて行なわれました。

「目に青葉、山ほととぎす初盤」の季節でしたので、遠く郷土、母校を偲びながら久びさの総会でした。

丁度その頃、全国高等学校校長会が、東京で開かれておられましたので、上京中の大島校長先生に、ご出席方お願いしましたところ、快よくご承知下され、お疲れのところ、遠路わざわざお越しいただき、ましたことは大変うれしく、同窓生も、校長先生のご出席のニュースに多数参会下され、盛大で有意義な総会でした。大島校長先生より母校の現況、同窓生の活躍状況などお話しを承わり、懐旧の念と、益々母校の発展のために、同窓生として、夫々努力しなくては、との決意も湧き上つてきたことでした。

当日は、役員のご改選も行なわれ、新役員が承認されましたので、この紙上をお借りして、皆様にご報告いたしたいと存じます。

終りになりましたが、全国でご活躍の同窓一同様、母校の諸先生、在校生諸君の益々のご健勝を心より祈念いたしております。

五十四年盛夏

関東支部新役員氏名

役名 氏名 卒業・科 勤務先

支部長 田所定夫(二〇M) 足立鋼業㈱

副支部長 松本四郎(三〇T) 沖電気工業㈱

江場秀治(三三S) 昭和圧接㈱

会 計

浜田逸雄(三二T) 日本電気フイ

ルドサービス

理 事

門田剛一(二八M) 富士通(株)

箭野憲正(二八M) 昭和圧接(株)

横井省吾(二二M) 日本計装(株)

笹岡益良(二四M) 新工商会

斧山光男(二七M) (株)インテック

長 信仁(三〇T) (株)中華高橋

星野 正(三〇M) 日本鋼管(株)

野瀬公介(三二T) 日本電気(株)

矢野雅也(三二T) 富士通(株)

川上忠男(三四T) 富士通(株)

海地清幸(二八M) 東京総合法律事務所

片岡命長(二〇M) 多摩燃機(株)

監 査

顧問

理 事 席



← 全員が仲々揃いませんので、参会者役員  
のみの写真ですが、悪しからず!!

# 関東支部

## 創立の頃

海地清幸

(昭18年機卒)

今は退職されている田村隆徳先生が、昭和三二年頃から、毎年上京し、翌年卒業する生徒の就職のため各社を挨拶廻りしておられた。そのうち支部創立の話になり、昭和三五年であったか赤坂の「司」で創立総会を開催した。私は箭野憲正氏と世話人の一人として「司」のおかみに、会費一名五〇〇円で頼んだ。当時の「司」は、二〇名以上一名一〇〇〇円が最低ということであったが、心良く引受けてくれ、きれいどころもサービスしてくれて盛会であった。

その席に郷土の大先輩、故、吉田茂先生をご招待したところ、「乍残念 先約有て 祈盛会」との返事であった。その頃の同窓は若かった。今初夏の総会は、六〇名程出席あり盛会であった。同窓も年論を重ね、各界で活躍している。正に今昔の感がある。



# クラブ活動

## 野 球 部

野球部顧問 植田豊年

同窓生の皆様野球部が復活しました。

昭和21～27年の間宮地省吾先生が顧問をされていました野球部が休部となり雌伏27年です。

今春の職員会において野球部の活動ができる条件として、部員グラウンド、指導者として活動を支える費用の三つ（四つ）の条件を出し、現在の一年生が二年生になれば何とかかっこうのついたものになるだろうという事で同好会として承認してもらいました。

まず部員ですが現在一年生十名、二年生二名で中学時代の野球、ソフトボール、その他のクラブで活動していた者が多く素質は十分です。次にグラウンドですが今まで陸上、ソフトボール、テニス、サッカー、ハンドボールが使用してましたのでこれら週のうち四日は広く使えるように顧問会で承認いただき顧問は私がひきうけるという事で4月21日より活動をはじめました。又費用は有志の先生の寄付その他でまかない特にボールは古い糸の切れた物を化学科を中心とした諸先生方に縫直してもらい使用し大いに経費節減に協力していただいております。

これからの活動計画は9月18日の郡体（須崎高、伊野商、明徳高、本校）、11月1日からの四国秋季

大会県予選を目指して練習に励んでいます。8月14日の合同練習（この時点では高校野球連盟に加盟していないので練習試合ではない。大方戦も同じ）では大敗しましたが8月21日の対大方商業戦では前半3対2とリードしましたが投手のコントロールが悪く又捕手が肩を痛めていた事もあって後半で8対6と逆にリードされたが7回一死2、3塁で一打同点という所まで行きましたが、良い当りが正面につき結局12対6で敗けました。大方商は夏の県大会でベスト四に残ったチームでその時の選手が4名残っているチームでしたから生徒も練習を多く積めばやれるという自信を持ったと思います。

9月3日に正式に高校野球連盟に加入し、対外試合もどんどんできる体勢になりましたが、同時に不祥事を起さないよう注意しなければなりませんので身が引きしまる思いです。

先日野球部のOBの北川和雄さんも学校に来ていただいた時に野球部の歴史などを聴きその他の注意もしていただき支援を約束して下さいました。

まだよちよち歩きのひよこですので諸先輩方の物心両面の応援がなくては活動が困難ですのでよろしく願います。



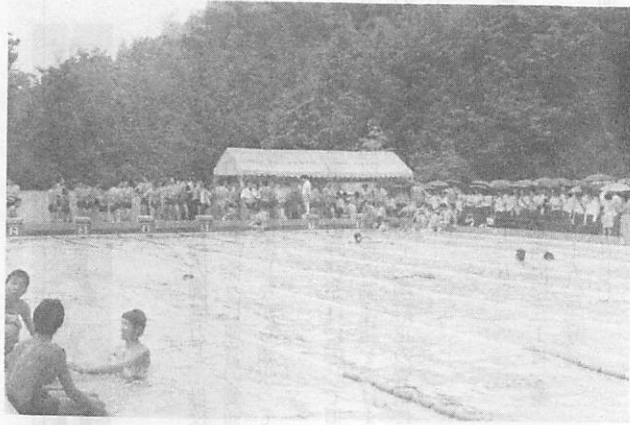
園東支店

# クラブ活動

## 水泳部

水泳部顧問 森 沢 徹 男

昨年度、プールが完成すると水泳同好会が発足し、本年度、念願の水泳部が誕生しました。発足した時には、珍らしさも手伝って部員も多数おりましたが、



三ヶ月後の現在では九名となっております。部員は少なくなつたとは言え、いずれの生徒も熱心で連日二〇〇メートルを泳ぎ、一秒でも二秒でも記録を短縮し、高知県のレベルに近付こうと頑張っております。

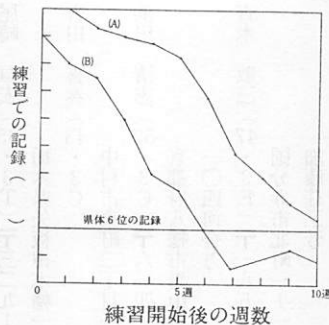
以下に発足した時から現在までの間、初めて参加した高知県高校体育大会での記録を参照しながら、日頃の頑張りの様子と成果の一部をご紹介します。

練習は腕力と脚力及び耐久力をつけるために、毎日二〇〇メートルを泳ぎます。始めは一〇〇メートルを脚だけで五回泳ぎ、つづいて、腕だけで五回泳ぎます。適当な休憩の後、全身を使って一〇〇メートルを全力で泳ぐことを一〇回繰り返し、合計二〇〇メートルを泳ぎます。試合が近付くと、全身を使って二〇〇メートルを全力で泳ぐことを繰り返して、二〇〇メートルを泳ぎます。

図をご覧下さい。練習での記録の推移を示したものです。この図では縦軸に練習の記録をとり、横軸に練習を始めて何週間になるかをとってあります。なお参考のために、横軸と平行に高知県高校体育大会(県体)での六位入賞者の記録を書き込んであります。

ます。この記録をとつたのは、県体で六位以内に入賞すれば四国大会に参加できるので、当面この記録を破ることを目標にしているからです。

### 練習での記録の推移



思います。

また、B君の場合、すでに目標の記録を破り、その最も良い記録は県体での三位入賞者の記録に相当しております。図にはのせてありませんが、他の生徒の記録も同様に向上しつつあります。

記録はこういう状態ですが、より一層の向上のためにはプールでの練習と冬期の陸上でのトレーニングに創意をこらす必要があると考えております。

美しい海や川に恵まれた当地で育たれた卒業生諸兄のなかには、水泳を競技としてやってみたいと考えられた方もおられたと思います。来校される機会がありましたら、後輩の練習をご覧いただき、叱咤激励していただければ、生徒にとってなよりの励みになることと存じます。

A君の場合

泳ぎ始めた時には、県体六位の記録にはとても及ばなかつたのですが、泳ぐたびにその記録は大幅に短縮されており、目標の記録を破るのは時間の問題だろうと

# 昭和53年度決算報告書

	費 目	金 額	摘 要
収入 の 部	前年度繰越金	539,056円	
	入 会 金	822,000円	52 年 度 446,000円 53 年 度 376,000円
	会 費	55,000円	
	広 告 料	409,000円	会 報 110,000円 名 簿(前期未収分) 299,000円
	雑 収 入	254,187円	会報協力金 50,000円 名 簿 代 201,400円
	計	2,079,243円	終身会費利息 2,787円
支 出 の 部	会 議 費	31,085円	理 事 会・そ の 他
	事 業 費	1,269,700円	① 開校記念品費 105,900円
			② 功労者記念品費 28,800円
			③ 会報印刷費 272,500円
			④ 名簿印刷費 850,000円
			⑤ その他(職域名簿) 12,500円
	通 信 交 通 費	306,635円	名簿ならびに会報発行費他
	事 務 消 耗 品 費	10,522円	コピー代、領収書他
	慶 弔 費	47,235円	支部総会祝金他
	支 部 配 分 金	9,200円	高 知 支 部
雑 費	2,175円	荷造りテープ他	
計	1,676,552円		
次 期 繰 越 金	402,691円	現 普 通 預 金 69,528円 333,163円	
< 特 別 会 計 >			
終 身 会 費	費 目	金 額	摘 要
	前年度末積立額	3,401,454円	
	本年度納入額	1,950,000円	現 預 金 130,000円 1,820,000円
計	5,351,454円		

## 昭和53年度会計事務について

諸帳簿及び証票書類等により監査の結果金額その他については相違なく、預金通帳・定期預金証書とも確実に管理適正執行されている。

昭和54年 3月31日

監 査 橋 本 昭

" 下 元 征 夫

前年度繰越金 539,056円についての会長説明を付記しておきます。

会長説明

53年度予算書において前年度繰越金が、78,562円となっておりますが、53年度の精算の結果、広告料などの未収金の計算ちがいのため、539,056円になりましたので訂正の御報告をします。

# 昭和54年度予算

	費 目	金 額	摘 要
収入の部	前年度繰越金	402,691円	
	入 会 金	446,000円	223名×2,000円 (54年度)
	会 費	100,000円	年 会 費
	協 力 金	100,000円	会報発行協力金
	特別会計収入	178,687円	四銀定期利息 54,983円 農 協 19,973円 中間利息 103,731円
	計	1,227,378円	
支出の部	会 議 費	50,000円	理 事 会・そ の 他
	事 業 費	660,000円	① 開校記念品費 エンピツ 680本×100円=68,000円
			② 会報発行費 印刷製本代5,000冊×50円=250,000円 封筒代4,000枚×3.5円=14,000円 送料4,000部×60円=240,000円 計 504,000円
			③ 調 査 費 53.3 } ハガキ 400枚×40円=16,000円 54.3 } 印刷代 14,000円 計 30,000円
			④ 予 備 費 58,000円
	通信交通費	100,000円	切手代・通話料・旅費その他
	事務消耗品費	30,000円	用紙代・コピー代・その他
	慶 弔 費	60,000円	全国大会出場祝・部活動その他
	支部配分金	130,000円	関東13,600円中京 5,000円近畿17,200円 高知22,000円須崎12,000円 <del>26,354</del> 60,000円
	雑 費	10,000円	
	子 備 費	187,378円	
計	1,227,378円		
< 特 別 会 計 >			
終身会費	費 目	金 額	摘 要
	前年度末積立額	5,351,454円	定 期 預 金
	本年度納入目標	2,000,000円	
	計	7,351,454円	



# 本年度事業報告

五月二十五日 開校記念品(エンピツ)を在校生

に配りました。

十月三十日 会報第四号を発行予定。

## 各支部の組織について

各支部長さんと連絡をとりながら、会員の多い職域に対しては各職域ごとに世話役(幹事さん)をお願いしてありましたところ殆どの方から、ご承諾をいただきました。誠に有難うございました。

各幹事さんは、ご多忙中と思いますが、何分宜しくお願ひします。

今後は、各支部で総会や親睦会を開けるように、本部としてもできるだけの配慮をしたいと考えていますので、会員の皆様も、支部の組織作りに一層のご協力をお願いしたいと存じます。

## 各種証明書の発行について

(母校事務室からの伝言)

証明書が必要なときは、法会の定めにより証明書交付申請書別紙(用紙は事務室に備付)を校長宛提出しなければなりません。(オ2号18頁の横式)

申請書には必要事項記入のうえ押印し左記金額に相当する高知県収入証紙を貼付してください。遠隔地からの申込みは事務手続に相当の日数を要しますので早目に申込みをしてください。又例外には高知県収入証紙は販売していないので、切手、又は現金を同封してください。

なお返信用の封筒には切手の貼付、住所、氏名、郵便番号をお忘れなくご記入ください。

手数料は次の通りです。

- 卒業証明書 一通につき一五〇円
- 成績証明書 一通につき一五〇円
- 単位修得証明書 一通につき一五〇円

送り先 〒785 須崎市多の郷和佐田甲四一六七ノ三

高知県立須崎工業高等学校事務室

電話 (〇八八九四) ②一八六一

②一八六二

証明書の件につき不都合または不明な点等がありましたらいつでも右記電話番号の証明係までお電話ください。

編集後記

第四号の会報を発行いたします。

各支部の役員ならびに会員の皆様には、原稿をお願いしましたところ、盛夏の折ご多忙中にもかかわらず早速にご寄稿いただき厚くお礼申し上げます。また、会報発行に対する協力をいただきました重ねて厚くお礼を申し上げます。

今回はとくに、野中健一郎先生より寄稿いただいた。母校の歴史をふり返る機会を与えて下さいます。事務局としまして、回を重ねることに、より充実した内容をおとどけて下さるよう努力をしたいと思いますのでお気付けの点をご遠慮なくお知らせ下さいませ。

印刷にあたりまして須崎市の笹岡印刷所さんに何かとお世話になりましたことを心からお礼を申し上げますと存じます。

事務局 編集委員



# 終身會費納入者名

昭和五十四年九月三十日現在

" " " " " M " " " " " " " " " " " " " " " M  
 20 18  
 小国官横広梅竹前海山山長清広中高高竹田坂木西矢橋田中  
 松広本島瀬原下田地中山山家田岡橋村村本下川野本辺平  
 章慶元兼健増托清幸弘象四当昌耕忠善嘉龜忠博万  
 洋助清幸男一秀造幸樹市一寛郎明巖孝吉男郎明雄行造年

" " " " " M "  
 21  
 柏大山松吉寺広吉片田片堅浜片池清甲浜近張松矢中梅井  
 井川田沢村田瀬岡岡所岡田岡上藤藤口森本野越原口  
 秀内真郁孔豐弥定命速善孝蔦良義和泗興象育治郎  
 有巖豐三功雄建延太郎夫長雄三人男徳茂夫夫海雄一行務郎

" " " " " M "  
 23 22  
 市吉奥下武片高古川島森岡中森戸刈笹大山谷島楠洪小亀  
 川本代村内田橋谷村崎下崎平下梶谷岡崎中崎本谷谷山  
 泰静重徳繁義義良春範徳桂茂雅栄正芳樹馨昭治三夫  
 輔夫恭昇雄彰徳幸隆一茂夫喜郎富幸勲郎義樹馨昭治三夫

" M S " " M " S " " " " " " " " " " M " " " " " " "  
 26 26 26 25 25 25 25 25 25 25 25 25 24 " " " " " " "  
 大西大上西近武福横高竹矢西横米津楠藤傍上谷竹鍋北市岡吉野島吉竹  
 崎内野田田森石永徳雅正良定三東秀富幸忠親武典惟良泰信貞春正  
 幸豊雄生造重男郎範幸一志勇郎作男万造義雄雄和孝輔輔雄造勇茂政一

T " " " M S M S " " M M S " " " " " " M M S " " " M S M S  
 30 29 29 29 29 29 29 28 28 " " " " " " " 27 26 " 26 " " " 26 26 26 26  
 野北橋上古竹中中若田田田岡藤堀井森福中川三汲武長高北池秋横森浜  
 波村本田味下川瀬村村村林田見上田岡嶋村本政山野川野川野野野野野野  
 充盛智忠哲聖秀竜武泰志津幸昭和三弘男七良孝勝一男雄万水男光清助  
 温靖幸明孝男徳市雄夫雄夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫

T M T " M " S " M T " M M T " S M " " T M T " " " M T " M " "  
 32 32 32 " 32 " 32 " 32 32 31 31 " 31 31 " " 31 31 31 " " " 30 30 " 30 " "  
 齐弘福植中窪塩宮在植松高高小藤川奥正浜三島吉高上武中江吉上長矢  
 藤田井村西田見崎木田村橋橋野田湖田延口浦山田野野野野野野野野野野  
 祐貞繁豊安邦崇英忠幸隆三秀邦国芳光善正裕光遊照浩博義俊正善信保  
 一夫次樹男彦敬雄正子司雄雄夫基秀男彦憲礼一亀男俱明明明明策右仁照

M S T S " M " S M S M T M T " " " M T " " M S M T " M T S " "  
 36 35 35 35 " 35 " 35 35 35 35 35 35 34 " " " 34 34 " " 34 34 34 34 " 33 33 33 " "  
 津增尾吉中高中西横鎌竹市武大高佐豊山西柳中中管福西西竹田山小矢  
 野田崎村平橋平森田倉崎原森崎橋木島下川本川村野井森村村村崎原野  
 昌 亘淳俊昭泰研雅 伸靖幸政 利昌幸嘉正 早佳幸昌仁元堯吉博親  
 英浩宏一郎之弘策敏彰一彦利導昇昌男三昭一勝夫紀三身利宏弘広信一郎

" M M " " " M T M C M " T " M C M " C S T " M " S " " " M " T  
 39 38 " " " 38 38 38 38 38 " 37 " 37 37 37 " 37 37 37 " 36 " 36 " " " 36 " 36  
 小井土福植友光竹上野梅中千下島村西上岡清江中竹大山山刈谷高小鎌  
 島上本井田永原内野瀬下村頭川津上森岡崎水口平村原崎中谷 橋室倉  
 康耿 壽詔直正一皓弘正且原公義楯利伸繁文憲精 康重茂満州貞政  
 弘介豊通一三己英男二育博典章夫栄夫夫高雄夫英史勉夫利正 敷夫清

" S E " M S E C S E S T " M " S M " E " C S E " M S T S " T "  
 44 44 " 43 43 43 43 43 42 42 " 42 " 41 41 " 41 " 41 40 40 " 40 40 40 40 " 39 "  
 松下西竹山高下西佐池邑田竹下津玉木正渡池長内前久大片新前岡苧山  
 浦元森崎下木元森竹田田村内川野川村木辺田部岡野川崎岡田田林部本  
 育 房貞 良栄広節収善正正哲 良正長正達俊 秀 豊正和文敏幸勝  
 男彰司男博介治利男一之志男三隆一雄生俊雄夫盛忠章明利男雄雄子喜

" " " " " " M E M C E E M E S M E M E M S " C " M E C S E S E  
 52 52 52 52 51 50 49 49 49 49 49 48 48 48 48 " 48 " 47 47 46 46 46 46 45  
 西谷官西川岡大藤岡橋田中浜石中森林出和小平西堅広藤佐小箭中岡片下  
 村岡脇村上 崎田田田村野田本井田 来田原山田瀬原木野野屋本岡谷  
 孝潤嘉德知昌友益哲 友信正富士賢順宏拓孝庸爵健喜久義 文 直福吉  
 豪也正泰男秀則二穂臣正喜男士夫一 郎幸夫幸一幸三 男信豊明保美彦和

" M S C " " " " " " " " " " " " " " E " " " " " C " " " " " S " "  
 53 53 52 " " " " " " " " " " " " " 52 " " " " " 52 " "  
 関池川海山山中遠小岡市山森西新小野小大田浜西中石丸松西高下川柳松  
 田村地 岸山山山橋田原下光田改川野崎部口村屋川岡岡森橋元村瀬本  
 泰和公 任孝安正啓郁正一輝大喜夫 富史 浩三 孝伸順信 早俊貴新 喜健幸  
 平正孝篤陽益龟司亮夫浩夫夫夫夫 史 彦 一之忠男一也市豊行次宏晃

" " " M S " E S M " S " E " M " " " " " " " " S " " " " " " "  
 53 53 " 53 53 53 " 53 " 53 " 53 " " " " " " " 53 " " " " " " "  
 大山松桑森中中北山片藤式藤高山吉山政浜野国北川井明嶋久吉山永土  
 野崎本原崎沢野添中山中田地岡鴨中本崎岡田島沢沢村上神崎万岡中原本  
 孝晋健真淳和俊俊光幸英秀大 一浩 清勝成文喜 直富道利憲正雅  
 雄司次一二明彦広典広男明成覚栄仁一勝志行雄広郎浩昭男夫尚一郎人



佐藤和也 堅田孝光 岡本光弘 石田典久 吉田智欣 森神一彦 明神孝郎 松浦俊市 松浦定男 西山浩基 長山孝文 長山正造 中田貴久 田部信弥 谷内智昭 竹内裕二 須崎裕二 芝崎裕二 笹岡義男 北村幸浩 堅野利耕 小野一宏 大野一宏 衣斐則彦 山本義文 山本義文 矢野宝宏 森光隆弘 松田靖弘 西地繁弘 長山弘行 中山孝雄

高橋広志 竹内優 田中登美夫 田村一彦 中谷智行 中元澄夫 西元澄夫 柳本孝一 山川心一

各支部  
 職域幹事さん  
 ご紹介

会員の皆さん、日頃は母校並に同窓会について、何かと心にかけて下さって有難うございます。同窓会も本部並に各支部役員さんはじめ、有志の方々の御努力と、会員皆さんのご協力により、次第に発展しております。

昨年は各支部に互り、会員の多い会社「職域」について、先輩の方々に世話役「幹事」をお願いしましたところ、皆さんにご快諾いただき、早速に会報の配布や連絡など活動下さって有難うございます。幹事さんには何かとお世話かけますが、今後とも

- 会長 兼 清家 寛
- 高知支部長
- 須崎支部長 中平 万年
- 近畿支部長 西川 嘉明
- 中京支部長 岡林 崇市
- 関東支部長 田所 定夫
- 事務局長 島崎 良一

よろしくお願ひします。

簡単に各支部職域幹事さんをご紹介します。  
会員の皆さん幹事さんを中心に親睦を深めて下さい。

【須崎支部】

(会 社 名)

大阪セメント(株)高知工場

越前町役場

越前郵便局

窪川町農協

高幡消防組合消防署

佐川町役場

佐川町農協

笹岡鉄工(株)

白石工業(株)土佐工場

新和商事(株)須崎支店

須崎市役所

須崎市農協

須崎電報電話局

須崎ナショナル製品販売(株)

日鉄鉱業(株)鳥形山鉱業所

葉山村役場

葉山西郵便局

(株)フタガミ

四国電力(株)須崎営業所

四国電気工事(株)須崎営業所

須崎郵便局

押岡建設工業(株)

中土佐町役場

窪川町役場

窪川電報電話局

(幹事名)

26 M 北川 和雄

34 M 土居 良彦

39 M 沢村 尹彦

47 E 武政 英博

31 T 山下 英作

21 M 田村 雄助

40 M 片岡 博文

43 M 笹岡 庸夫

18 M 橋本 忠行

22 M 浜口 憲正

22 M 井上 忠男

24 M 上田 一幸

21 M 上田 昭夫

37 C 武田 純明

35 M 山本 富一

22 M 川村 義隆

26 S 長山 貞雄

44 E 大崎 英一

20 M 広瀬 孔健

25 M 加藤美代治

23 M 橋本 速男

18 M 下村 晴宏

32 S 山添 英彦

26 S 三浦 庸喜

41 T 中城 徹

【高知支部】

今井造船(株)

宇治電化学工業(株)

永宝造船(株)

関西グループ

共進生コン(株)

セイレイ工業(株)高知工場

高新高知放送

高知県庁

高知県警察

高知県造船(株)

高知重工(株)

高知ダイハツ販売(株)

高知トヨペット(株)

高知日産自動車(株)

高知ナショナルグループ

高知シャープ電機(株)

高知県交通(株)

国鉄高知

(株)新山本造船所高知造船所

四国建機(株)

昭和設計(株)

四国電力(株)高知支店

四国電気工事(株)高知支店

敷島紡績(株)高知工場

大野見村役場

大野見村密(株)

佐川電報電話局

越前町農協

高吾北消防署

41 E 岡村 忠宏  
45 M 岩崎 憲二  
42 M 竹内 正男  
21 M 大藤 益富  
45 S 横島 一郎

28 S 岡林 幸保

33 M 浜田 文三

45 S 片岡 正延

21 M 笹岡 勲

21 M 中平 徳喜

41 M 池 徹

24 M 黒原 耕作

40 M 崎山弘太郎

20 M 武内 昌良

29 S 堀見 正

33 S 中村 光

27 M 井上 健弘

33 T 藤田 裕章

31 M 中野 義明

33 M 江口 長毅

37 T 黒田 末弘

36 M 柳井 武志

34 M 横山 秀夫

35 S 山中 隆

47 M 山本 享

37 S 三本 泰司

18 M 宇賀 重明

43 E 大野 則夫

39 M 山本 勝喜

(株)鈴江農機製作所

大旺建設(株)

東洋電化工業(株)

土佐電気鉄道(株)

トヨタオート高知(株)

トヨタカラー高知

マイカーセンター

南海化学工業(株)土佐工場

日産プリンス高知販売(株)

日産サニー高知販売(株)

日本紙業(株)高知工場

野瀬建築設計事務所

ミロク製作所(株)

宮地電機(株)

錦工業(株)

高知市役所

高知電気通信部

高知電報電話局

高知統制電話中継所

高知統制無線中継所

四国コカコーラボトリング  
高知営業所

土佐市役所

土佐電報電話局

大永造船(株)

【五野・水島地区】

三井造船(株)玉野造船所

佐野安船渠(株)水島造船所

【香川・愛媛地区】

20 M 横島 元幸

35 M 芝田 茂

34 M 中山賀一郎

28 M 横川 寛水

36 M 箭野 百紀

38 C 河添 正文

41 E 橋本 寿一

18 M 広田 四郎

43 M 川上 公雄

23 M 和田 富夫

23 M 野瀬 勇

30 S 角西 信義

44 E 森下 昭一

31 S 浜口 一

42 T 田村 二郎

40 T 中山 隆弘

36 T 山崎 之彦

34 T 山本 浩章

39 T 古谷 義和

45 C 中川 龍彦

40 M 羽方 英文

39 M 安岡 憲一

28 S 広見 豊

20 M 片岡弥太郎

34 M 渡辺 義夫

川崎重工業(株)坂出工場  
 (株)来島トック  
 44 S 川村 博  
 43 S 片岡 厚夫

【九州及び静岡地区】

日立造船(株)有明工場  
 (株)金指造船所  
 26 S 鎮西 正典  
 43 S 笹岡 和富

【近畿支部】

(株)天辻鋼球製作所  
 大阪瓦斯(株)  
 オーツタイヤ(株)  
 尾崎石油(株)  
 川崎重工業(株)神戸工場  
 花王石鹼(株)和歌山工場  
 (株)神戸製鋼所  
 小泉製麻(株)  
 佐野安船渠(株)  
 三洋電機(株)  
 昭和精機工業(株)  
 昭和電気建設(株)  
 シヤープ(株)  
 白石工業(株)尼崎工場  
 新日本製鉄(株)堺製鉄所  
 新日本製鉄(株)畑製鉄所  
 住友金属工業(株)和歌山製鉄所  
 セントラル硝子(株)堺工場  
 ダイハツ工業(株)  
 タカライス工業(株)  
 (株)大金製作所  
 大日本インキ化学工業(株)  
 堺工場

27 M 伊藤 孝由  
 48 C 広瀬 健三  
 31 M 西山 忠男  
 31 S 岡崎 嘉男  
 29 S 坂本 孝之  
 43 C 山中 修一  
 35 M 中越佐津夫  
 26 M 大崎 静幸  
 32 S 大川 次郎  
 29 M 山崎 富男  
 28 M 板谷 正雄  
 40 T 竹本 一男  
 29 M 盛光 宣之  
 23 M 谷脇 正造  
 37 T 千頭 且典  
 35 M 梅原 郁男  
 31 M 渡辺 泰信  
 35 S 片岡 暎敏  
 33 T 福留 楠夫  
 38 M 大崎 幸雄  
 48 M 高尾 義継  
 49 C 岡添 弘志

東洋ガラス(株)大阪工場  
 東洋ガラス(株)滋賀工場  
 中西化工(株)  
 (株)名村造船所  
 日本紙業(株)関西事業所  
 日鉄ロープ工業(株)  
 バンドー化学(株)南海工場  
 日立造船(株)大阪工場  
 日立造船(株)堺工場  
 ペガサスミシン製造(株)  
 (株)堀場製作所  
 松下電器産業(株)  
 松下冷蔵(株)冷蔵庫事業部  
 三井造船(株)藤永田造船所  
 三菱電機(株)通信機製作所  
 (株)淀川製鋼所大阪工場

47 E 小野 豊  
 48 E 森岡 基  
 39 M 田井 優充  
 31 S 山口 利一  
 31 S 山野上 寛秋  
 45 E 平井 陽  
 33 M 長山 三男  
 25 S 精瀬 富万  
 40 S 内岡 肇  
 26 M 池 速水  
 40 M 久川 章  
 31 T 正延 善彦  
 35 M 中川 栄一郎  
 32 S 秋沢 孝正  
 37 M 安井 修  
 29 M 中 聖徳

【中京支部】

アイシン精機(株)  
 愛三工業(株)  
 大同特殊鋼(株)  
 トヨタ自動車工業(株)  
 トヨタ車体(株)  
 東レ(株)愛知事業場  
 日本鋼管(株)津造船所  
 日本電装(株)  
 不二越工業(株)  
 本田技研工業(株)鈴鹿製作所

33 M 沖本 毅  
 40 M 岡村 雅之  
 45 E 和泉 勝人  
 40 M 高橋 敏彦  
 42 M 下八川 哲三  
 46 C 竹村 隆  
 34 S 菅野 佳紀  
 45 M 森岡 輝男  
 23 M 岡林 県市  
 37 M 野中 義昌  
 30 T 松本 四郎

【関東支部】

沖電気工業(株)

川平工業(株)  
 昭和圧接(株)  
 住友重機械工業(株)浦賀造船所  
 大日本インキ化学工業(株)  
 千葉工場  
 東京電気通信局  
 東燃石油化学(株)  
 日本鋼管(株)  
 日本電氣(株)  
 日本電気フィールドサービス  
 日立電子サービス(株)  
 富士通(株)川崎工場  
 大阪セメント(株)市川工場  
 川崎製鉄(株)千葉工場  
 富士電機製造(株)

31 M 奥田 光男  
 33 S 江場 秀治  
 43 E 中谷 博重  
 44 S 小川 勝男  
 47 E 畠中 範夫  
 44 C 中野 正人  
 30 M 星野 正  
 31 T 野瀬 公介  
 31 T 野瀬 公介  
 40 T 明神 義広  
 30 T 矢野 雅也  
 48 E 吉田 博  
 24 M 古谷 正一  
 31 T 吉田 遊亀  
 以上

(注) 右以外にも全国各地に会員の多い職域がある  
 と思います。世話人をきめて本部へ連絡下さ  
 い。

